

Meiji Seika ファルマ株式会社

2022年8月25日

報道関係各位

新型コロナウイルス感染症に対するレプリコンワクチン 「ARCT-154」の製造販売に関する協議についてのお知らせ

Meiji Seika ファルマ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：小林大吉郎、以下 Meiji Seika ファルマ）は現在、Arcturus Therapeutics Inc.（本社：米国サンディエゴ、President & CEO：Joseph E. Payne）が開発中であるオミクロン株等の変異株に対しても有効性が期待される新型コロナウイルス感染症に対するレプリコンワクチン（次世代mRNA ワクチン）「ARCT-154」（開発コード）について、日本での製造販売に関する協議を同社と進めております。

また、Meiji Seika ファルマは、株式会社 ARCALIS（本社：千葉県柏市、代表取締役社長：藤澤 朋行）と連携し、「ARCT-154」を早期に国内生産（福島県南相馬工場）し、供給する体制を構築していく予定です。

詳細については、契約締結後に速やかに開示します。

以上

【参考】

レプリコンワクチン（次世代mRNA ワクチン）とは

接種後に抗原タンパクをコードするmRNAが細胞内で複製され、持続的に抗原タンパクが作られるワクチンです。接種量が少なく、ワクチンの効果が長く持続することが期待されます。

Arcturus Therapeutics, Inc.について

2013年に設立された米国を拠点とする製薬企業で、後期臨床ステージの感染症用ワクチンをはじめ、肝臓や呼吸器の希少疾患に有効な mRNA 医薬品の研究開発を行っています。

詳細は WEB サイトをご覧ください。 <https://arcturusrx.com/>

株式会社 ARCALIS について

mRNA 医薬品・ワクチンの受託開発製造事業（CDMO 事業）を行う企業であり、mRNA 医薬品製造工場を 2023 年南相馬に建設予定としています。

詳細は WEB サイトをご覧ください。 <https://corp.arcalis.co.jp/>